



○2学期始業式 各学年 代表生徒の抱負

〔1年生〕 生野 辰実

ぼくが夏休みに一番き気をつけたことは、ルールを守ることです。その中でも自転車のルールを守ることです。夏休み前の樋浦先生の話にもありました。部活動で登校するときはもちろん、自転車に乗るときは交通事故に合わないよう、ルールを守っていこうと思いました。当然、ヘルメットは着用です。おかげで、夏休み中は事故もなく過ごすことができました。

夏休み中の学習の目標は、毎日できるだけ100分勉強しようと頑張りました。毎日できたかというところできない日もありましたが、ワークやドリルパークを中心に勉強をしました。ワークは間違えたところをもう一度やり直しをして、復習をしました。さらに、2学期の内容も予習をしました。2学期の目標は、定期テストで国語、数学、理科、社会、英語の5教科で1学期以上の点数を取ることです。

今日からの2学期、私は、生活のルールを守り、健康な毎日を送りたいです。そして勉強も頑張りたいです。たまには家の手伝いもしたいです。これが僕の2学期の目標です。



〔2年生〕 石井 日葵

私は2学期に重点的に取り組みたいことが二つあります。それは、「定期テストの点数を上げる」と「合唱祭」です。

まず、「定期テストの点数を上げる」ことについては、私は前回の定期テストで以前より点数が下がってしまいました。なので、今学期は前回より5点UPを目指します。そのために、テスト前はもちろんですが、ワークを何周か繰り返し取り組み計画的に勉強をします。

次に、「合唱祭」については、私は今年の合唱祭でピアノ伴奏をすることになりました。なので、責任を持ってピアノ伴奏をやり切ることを目標に、毎日少しずつ練習を続けていきます。本番でも落ち着いて弾けるように繰り返し練習をしていきます。

この2つの目標が達成できるよう、2学期の生活を頑張りたいと思います。

〔3年生〕 水沢 椿

私が2学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は勉強です。1学期の定期テストは、納得のいく点数ではありませんでした。2学期のテストでさらに点数を取るために自主学習の計画を立て、コツコツと進めていきたいと思っています。さらに受験生なので毎日少しずつ勉強する癖をつけ、理解ができていない問題などは様々な人に教えてもらい、少しでも学力の向上に努めていけるよう頑張りたいです。

2つ目は学校行事です。最後の体育祭や合唱祭が2学期にあります。体育祭では応援リーダーとして軍全体を盛り上げ、優勝できるように競技でも、応援でも精一杯力を発揮できるように頑張りたいです。そして少しずつ練習を積み重ね、合唱祭ではこれまで以上に声を出し、綺麗な合唱を体育館に響かせたいです。

残り少ない中学校生活ですが、学習面や学校生活で先のことを考えて、今やれることを一生懸命やるという意識を大切にしていきたいです。

「抑止力」はフィクション！？

この夏、私の心に深く残った出来事の一つに、広島平和記念式典での湯崎知事のあいさつがあります。今日はそのお話をさせてください。湯崎知事のあいさつの中で、特に印象的だったのは、次の一節です。

「『抑止力』とは、あくまで頭の中で作り出された考えや心理、つまり『フィクション（作り話）』であって、万有引力のような変わらない物理の法則ではない」

難しい言葉ですね。「抑止力」とは、例えば「核兵器を持っているから、相手も攻撃してこないだろう」というように、相手を怖がらせることで争いを防ごうとする考え方のことです。

知事は、歴史を振り返ると、大昔のギリシャ時代から、この「抑止力」という考え方だけでは、繰り返し戦争が起きてきたと訴えています。なぜなら、人の心や考え方は、状況や相手によって変わってしまうからです。例えば、私たちがある人を「優しい人だ」と思っているのに、他の人から見たら「ちょっと厳しい人だ」と感じる場合があります。それと同じで、「抑止力」も、常に絶対的に正しいものとは限らない、と知事は言いたかったのです。

ここで少し、私の家族の話させてください。

私の祖父は、第二次世界大戦の終わり頃、小学校の校長先生をしていました。戦争が終わった後、祖父は、それまで教育者として行ってきた自分の行動について、深く悩み、後悔したと聞いています。なぜなら、戦前の日本では、戦争を正しいことだと教えるような教育が行われていたからです。校長として、そのような教育に関わってしまったことを、心から悔やんだのだそうです。終戦と同時に、これまでの日本の教育の考え方が大きく変わってしまったのです。余談ですが、祖父はその後しばらくして校長を辞め、とても貧しい生活を送ったそうです。

私たちは、日々の生活の中で本当にたくさんのことを学びます。その中には、「物理の法則」や「数学の法則」のように、誰にとっても絶対に変わらない「普遍的な真理」もあります。でも、そうでないものもたくさんある、ということを私たちは知っておく必要があります。特に、人が考えたこと（概念や心理）は、その時の状況や環境、そしてそれを受け取る相手によって、受け止められ方が変わってしまうものなのです。

もし「核による抑止力」が崩れて核戦争が起きてしまったら、人類（地球）は元には戻せないほどの大きな被害を受けてしまいます。長崎大学の資料によると、今現在世界にある核兵器は、広島や長崎に落ちた原爆に換算すると、なんと10万発以上にもなると言われています。想像してみてください、もしそれだけの原爆が使われたら、地球上のほとんどの場所が、あの時の広島や長崎のようになってしまいます。

広島県知事は、「抑止力は、ただ武器のバランスだけでなく、文化や外交といった『ソフトパワー』、つまり人とのつながりや話し合いを含む広い考え方であるべきだ」と訴えています。この考え方は、私たち個人の生活にも置き換えられますね。つまり、人と人とのつながりや、お互いの話し合いがとても大切だということです。

平和は、誰かがどこかから持ってきてくれるものではありません。私たち一人ひとりが、日々の生活の中で積極的に作り上げていくものです。

例えば、友達と意見が対立したとき、すぐに相手の意見を否定するのではなく、「なぜそう思うんだろう？」と耳を傾けてみる。インターネットで誰かを傷つけるような言葉を見かけたとき、何もせずに見過ごすのではなく、正しい情報を伝える勇気を持つ。そうした小さな行動の積み重ねが、平和への大きな一歩になります。自分の周りの人を大切にすること、さまざまな考え方を受け入れること、困っている人に手を差し伸べること。こうした行動が積み重なって、やがては大きな平和な世界へとつながっていくのです。

皆さんにとっての「平和」とは何でしょうか？ そして、その平和を守るために、今日からできることは何でしょうか？

(始業式 校長講話の内容より抜粋)